

平成20年8月1日

情報・システム研究機構 国立情報学研究所  
学術基盤推進部 学術コンテンツ課

## 日韓 ILL システムの改修について

平素より、本研究所の事業にご支援、ご協力いただき誠にありがとうございます。

NII では、7/24(木)に日韓 ILL システムの改修を行いました。日韓 ILL の主な変更点は以下の通りです。

- CODE と NOTE のチェック

受付業務の[INQUIRE]、[PARDON]時、コメント<CMMNT>フィールドの CODE と NOTE 部分において” CODE=”、” NOTE=” がない等、不備があるものは、転送エラーとなり、「回答待(IN-PROCESS)」に遷移します。コメント<CMMNT>フィールド部分に” CODE=13” といったように” CODE=” に続けて、問合せ/謝絶内容コードを記述するか、または” NOTE=in-use-on loan” といったように” NOTE=” に続けて問合せ/謝絶内容を正しく記述し再度、[INQUIRE]、[PARDON]処理をしてください。

(参考) ILL システム操作マニュアル ISO ILL プロトコル対応 第2版

- 6.4 依頼内容について問合せる

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/iso2/6\\_4.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/iso2/6_4.html)

- 6.6 依頼を断る (謝絶)

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/iso2/6\\_6.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/manuals/iso2/6_6.html)

- CancelAPDU 受信時の処理の改善

受付業務の[SEND]時、最新の[SEND]コマンド発行以前に CancelAPDU の受信があった場合、転送エラーとなり、「クレーム未処理(IN-PROCESS)」に遷移します(図中の①)。該当データはすでに KERIS 上で CANCEL されていますので、[PARDON]処理をしてください(図中の②)。Cancel-Reply(YES)APDU が KERIS 側に送信され、「CANCEL(CANCELED)」に遷移します(図中の③)。

なお[PARDON]処理時においては、コメント<CMMNT>フィールドは必須入力項目となっておりますので、” CODE=27” または” NOTE=CANCEL YES” など CANCEL に承知した旨を記述して、[PARDON]処理をしてください。

